

非稼働病床の現況について（堺市二次医療圏）

資料3-3

※過去1年間一度も稼働していない病床を有する病院または過去1年間病床が一度も稼働していない有床診療所（非稼働病床という）

	医療機関名	所在市区	非稼働病床の状況			計画		
			病床数	非稼働になつた時期	稼働できない理由	計画内容	達成時期	計画の詳細
1	独立行政法人国立病院機構 近畿中央呼吸器センター	堺市北区	104床	平成30年度	令和7年9月30日付で、6階病棟の一般25床および結核25床、北4階西側病棟の一般20床、西2階病棟の一般19床を減床した。 現在は、西2階病棟の一般15床のみが非稼働病床である。 非稼働病床の15床は、新興感染症等の発生に備えて確保している。	その他		非稼働病床の15床は、新興感染症等の発生に備えて確保している。
2	社会医療法人啓仁会 堺咲花病院	堺市南区	130床	平成30年度	・平成30年4月 近畿大学医学部堺病院を一般病棟43床で事業継承 ・平成30年11月 一般病棟を60床に増床（非稼働病床250床） ・平成31年4月 地域包括ケア病棟60床を開床（非稼働病床190床） ・令和元年8月 地域包括ケア病棟60床を開床（非稼働病床130床） ・令和3年7月 一般病棟を100床に増床（非稼働病床90床） ・令和6年8月 一般病棟40床を休止（非稼働病床130床） 現状、人員不足（医師・看護師・理学療法士）なため、130床が非稼働	再稼働する。	未定	【具体的対応方針】 平成30年4月 近畿大学医学部堺病院から一般病棟43床で事業継承し、人員確保を進めてき、令和7年10月現在で180床が稼働している。 堺市南区は高齢化が進んでいる地域であり、医療ニーズは増加していくと見込まれる。 今後も継続して医療従事者（医師・看護師・理学療法士）の求人を行い、必要人員が前次第、随時病床稼働を行っていく予定である。 現在の建物は昭和46年に建築された建物であり、事業継承時より建替を計画しており、令和7年2月竣工を目指し病院建物の新規建替を計画していた。 しかしながら建築費の高騰の影響もあり、現状は竣工時期が未定となっている。
3	公益財団法人浅香山病院	堺市堺区	42床	令和5年度	施設の老朽化に伴い更新が必要なため	再稼働する。	未定	経営状況の安定を最優先とし、地域における医療ニーズのマーケティングを行うなど、再稼働の是非を含めて慎重に検討している。
4	医療法人 NINE NETWORK 竹山レディースクリニック	堺市南区	9床	平成26年度	看護師スタッフの確保が困難なため。分娩取扱い、入院を中止した。	指定医療機関として必要であるため、現状の運用通りとし、他の目的で使用しない。		スタッフの確保、施設の更新を計画中であるが、具体的な予定はたっていない。今後の診療内容に有床診療所の資格が必要な場合も考えられるので、具体的に方針が決定するまで、現状維持としたい。
5	医療法人千世会 清水レディースクリニック	堺市堺区	1床	平成15年度	入院が必要と説明するも患者が入院を拒否する。管理医師は夜間滞在できるが医師以外のスタッフが常時存在しない。	指定医療機関として必要であるため、現状の運用通りとし、他の目的で使用しない。		まずは夜間勤務できるスタッフの確保を計画する方針である。
6	医療法人雄徳会 たつみクリニック	堺市西区	3床	平成30年度	看護職員の必要数が確保できないため。加えて在籍医師の加齢による。	再稼働する。	未定	再稼働に向け、看護職員の人員確保のため求人中であるが目標人数に達していない。資金面を含め医師の確保も検討中であるが現状は困難であるため、具体的な再稼働のスケジュールは未定。
7	徳川レディースクリニック	堺市西区	1床	平成21年度	大阪府医師会母体保護法指定施設として設備指定をうけるため。	指定医療機関として必要であるため、現状の運用通りとし、他の目的で使用しない。		指定医療機関として指定をうけるために必要なため、現状の運用のままの予定。